

事務事業評価シート

事務事業評価シート				事業種別	継続	単独	事業類型	施設の管理・運営			1次評価のみ対象分	
	コード	名 称				区分	コード	名 称				
事業名	1277	新都市浄化センター維持管理経費				会計	11	公共下水道事業				
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する				款	01	事業費				
						項	01	施設管理費				
						目	01	施設管理費				
施 策	2	公共下水道の推進と整備				細目	101	施設管理費				
						細々目	02	新都市浄化センター維持管理経費				
基本計画該当頁		108		担当部課	コード 190200		評価者氏名	下水道課長 松 本 秀 喜		連絡先	22 - 9821 (内線) 2870	
行革大綱の重点事項番号				名称	建設部下水道課							

事業の計画・内容

対象等(何が、誰が)				成果(どうなるのか)	
事業目的	新都市処理区域内の住民			処理施設の適正な維持管理によって、家庭等からの雑排水やし尿が、きれいな水に浄化されて排水されることにより、地域の公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が図られる。	
	(対象件数)				
開始年度	平成 9 年度	関連事業	農業集落排水事業		
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	下水道法・伊賀市公共下水道条例・同管理規則		
本年度事業内容	排水処理施設の設備や機械・装置等の保守・点検 浄化処理により発生した汚泥の処分 料金徴収事務			状況変化等	平成9年4月1日に一部供用開始を行い、その後、区域内人口の増加に伴い、平成14年4月に第2系列目を増設し現在に至っている。健全な経営を行うためには、使用料金の徴収率の向上を図ることが必要であります。

整備内容

1 建設用地 2 建設面積(延床面積) 3 規模・構造 4 総事業費	千円
---	----

運営体制

1 運営主体 委託先 2 配置(予定)人員 年間運営費 4 市内の類似施設	☒ 直営 ☐ 指定管理 ☐ 民間委託等 (施設保守・点検、汚泥処分は、委託) 0.5 人 58,099 千円 柘植浄化センター、せせらぎ浄化センター、島ヶ原浄化センター、希望ヶ丘浄化センター
---	---

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
施設保守点検	回	目標 ー	目標 242	242	242
		実績 242	実績 242		
水質検査	回	目標 ー	目標 24	24	24
		実績 24	実績 24		
汚泥処分回数	回	目標 ー	目標 35	37	40
		実績 37	実績 35		
料金調定件数	件	目標 ー	目標 7800	8350	9240
		実績 6812	実績 7544		
		目標 ー	目標 ー		
		実績 ー	実績 ー		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
排出基準達成率(達成回数/測定回数)	処理水の水質検査結果が、排出基準、及び施設の目標放流水質基準を満たしていることが重要であり、水質検査測定回数に対する達成回数の比率を指標とすることによって、適正な維持管理ができているかを把握できる。	%	目標 100	目標 100	100	100
			実績 100	実績 100		
使用料収納率(収入額/調定額)	適正な維持管理は、施設の健全な経営がなされて達成可能であり、維持管理経費の原資となる使用料の徴収率向上は、経営健全化及び適正な維持管理の達成度の指標となる。	%	目標 100	目標 100	100	100
			実績 92.4	実績 91.7		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に寄与し、市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業である。
有効性	4	汚水処理能力の保持には、適切な維持管理を継続的に行う必要がある。
達成度	3	排出基準内で放流し、区域内住民からの悪臭、水質汚濁等の苦情件数や施設の故障等による使用中止事件もなく、概ね適切に事業が遂行されている。
効率性	3	施設の機械・装置等の適切な点検・維持を励行することにより、動力費や修繕費等の低減を図る、委託業務の見直し等による委託料の減等コスト削減の工夫をする余地がある。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	当施設は、処理区域内の公衆衛生及び環境衛生の向上、また、公共用水域の水質保全に寄与しており、市民が快適な暮らしをするには必要な施設であります。このことから、維持管理経費の確保は不可欠であります。

進 捗 状 況	年度					平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容						
	委託					事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額				
									(千円)				(千円)				(千円)				(千円)
						委託料	1	式	38,450	委託料	1	式	36,866	委託料	1	式	38,395	委託料	1	式	38,500
						工事請負費	1	式	4,169	工事請負費	1	式	6,170	工事請負費	1	式	10,530	工事請負費	1	式	10,000
工事					その他	1	式	16,663	その他	1	式	15,063	その他	1	式	20,272	その他	1	式	22,300	
進捗率 (%)																					
事業投入人員						事業費計(A)		Σ	59,282	事業費計(A)		Σ	58,099	事業費計(A)		Σ	69,197	事業費計(A)		Σ	70,800
フルコスト (A) + (B)						人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600
									62,882				61,699				72,797				74,400

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	59,282	58,099	69,197	70,800
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	59,282	58,099	69,197	70,800
	計	59,282	58,099	69,197	70,800
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	施設使用料	施設使用料	施設使用料	施設使用料